

Club Je Pense

2021年10月講義

テーマ

「笑い」

本日の講義&ワークで目指すのは
「笑い」の本質の理解に迫り
日常生活に有効活用していく
ヒントを見つけること

哲学的思考の
基本的アプローチ

定義の確認

そもそも「笑い」とは？

あなたが現在認識している

「笑い」

を教えてください

辞書的な定義では

楽しさ・嬉しさ・おかしさ
などを表現する行動

一般的には
「快」の感情と共に生じる

極めて人間的なもので
動物で笑うのは人間だけ

とされていますが
本当にそうなのでしょうか？

今述べた「笑い」の定義について
不足を感じる点があれば
教えてください

次に

笑いの種類を確認しましょう

爆笑

微笑

苦笑

失笑

嘲笑

空笑

憫笑

照れ笑い

作り笑い

愛想笑い

思い出し笑い

もらい笑い

こう考えると
必ずしも「快」の感情と共にある
とは言い難い

人生を豊かにする「笑い」

と

人生を豊かにしない「笑い」



イングランドの哲学者ホッブスは
「優越による笑い」
を唱えています



ドイツの哲学者カントは
「笑いの緊張開放説」
を唱えています

逆に

「笑い」以外で「快」の感情を
表す行動は何がある？

笑いが起こる条件として
リラックス（緊張をしていない）
が必要であるなら
最高の性的な「快」の瞬間は
最も緊張するので笑顔はない

また

「快」を最大化するには
「不快」を増やす必要がある

究極の緊張感からの開放による

笑いを得るためには

笑えない時間が必要

逆説的ですが

「笑うために笑わない」

ワーク

笑ってはいけない時って
どんな時？

笑ってはいけない時だけど
本当は笑った方が良い時って
どんな時

笑いの快楽を高めるために
どんな笑わない時間が必要か？